よりよい港区づくりに貢献する

# 港新聞 MINATO SHIMBUN

第128号（再刊第45号）

発行　港新聞社（代表・飯田吉一）
〒552-0005 大阪市港区田中３－３－３
TEL06-6571-4636 FAX06-6571-4636
（毎月10～15日、港区全域に33,000部を戸別配布）

2010年４月15日（木）

**港新聞の発行目的**

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、共に考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

# 石綿による中皮腫で労災

## 元港湾労働者

## 吸引20年、潜伏後に発症

港湾荷役で石綿（アスベスト）粉を吸引したことが原因で悪性中皮腫（肺を囲む胸膜や臓器を囲む腹膜などにできる悪性の腫瘍）を発症した区内の元日雇い港湾労働者Mさん(七〇)に、昨年九月から労災保険が適用されていたことが分かりました。かつて石綿荷役を経験し、発症不安や生活不安を抱える区内の元港湾労働者の間では「自分が発症した時の励みになる」「労災申請の参考になる」などの声が挙がっています。

## 同僚証言が認定後押し

Mさんに中皮腫を発症させた石綿。それは柔軟性や耐食性に優れた工業材料として一九〇〇年頃から生産を増やし、七〇年代半ばにピークを迎えました。健康被害が社会問題となって生産・使用規制が行なわれ、世界的には八〇年代から生産が減少しましたが、日本では引き続き大量に輸入され、九〇年代にようやく減少に転じました。

吸引による症状には①石綿肺（石綿粉が肺に沈着し、段々と肺機能が低下する）②肺癌（石綿粉が細胞の遺伝子を刺激し、肺がんを発生させる）③悪性中皮腫（前出）―などがありますが、それらが現われるのは数年～数十年後。ですから、潜在的に病気を抱える人が今も多くいるということを理解しなければなりません。

石綿は日本ではほとんどが輸入で調達され、大半は船積み。ですから、国内でまず危険に曝されるのは港湾労働者でした。荷役には袋を肩で担いだり、手でつかんだり、手鉤で引っかけたりといった肉体労働が必要で、袋が破れることも多く、穴から飛散した石綿粉を労働者は大量に吸い込みました。

石綿輸入のピークだった1970年代の荷役風景（厚生労働省ホームページから）。手鉤を使う作業で飛散した石綿粉をMさんら港湾労働者が多量に吸い込んだ

### ■自覚症状が現われる

このような港湾荷役にMさんは一九六〇年ごろから大阪港で携わり、九九年に退職。その三十数年間のうち二十年以上は石綿を扱ったといいます。

六十九歳になった二〇〇八年秋、階段を上ったり、深呼吸したり、くしゃみをしたりすることが、胸の痛みで出来なくなるという自覚症状が現われました。

そこでまず大阪市の肺癌・結核の検診を何度か受けました。が、「何ともない」と言われたので港区内の病院でも診てもらいました。担当医に「アスベストによる症状では？」と不安を伝えましたが、しばらく様子を見ることになりました。

しかし翌〇九年六月にはますます痛みがひどくなり、「詳しく調べてほしい」と担当医に催促。その紹介でPET検査（分裂の早いがん細胞がブドウ糖を多く消費する性質を利用してがんの有無や性質を診断する検査）、次いで生体サンプル検査を受け、「胸膜悪性中皮腫」と判明しました。さっそく手術を行ない、左肺を囲む胸膜にできた三つの腫瘍のうち最も大きな一つを切除しました。

## 治療費と生活費補償
## 症状改善へ懸命闘病
### 「自分も…」不安持つ人に光

### ■労基署で実態話す

退院後の七月、Mさんは労災認定を求めて大阪西労働基準監督署（西区）へ出向きました。その際、港新聞（大阪港での港湾労働者のアスベスト禍問題を取り上げた第八十九号、九十八号）を持参。担当者に「これをよく読んでほしい。この通りの労働をしてきたんや」などと話しました。

その後、労基署は港新聞に名前が出ていた元港湾労働者のTさんからも事情聴取を実施。Tさんは、Mさんと一緒に働いていたことや港湾労働の実態を話し、Mさんへの労災適用を求めました。

一週間後、Mさんに「労災適用」の連絡が入りました。Mさんは「これまでの治療費は全額返ってくる」「これからの治療費や生活費も支給される」と胸をなで下ろし、証言してくれたTさんに感謝しました。

そして府内の労災指定病院に入院し、残る二カ所の中皮腫への抗がん剤治療を続け、十一月に退院。今年二月からは治験薬による在

【2面につづく】

アスベスト不安のある人は継続的に **肺がん検診を**
**5月9日(日)** AM9:30～10:30
港区保健福祉センターで<要予約・40歳以上>
X線撮影無料・喀痰検査400円
※4月30日(金)、5月28日(金)には結核健診も
詳しくは☎6576-9882同センターへ

## こんなときはご一報下さい

- こんなことが地域で問題になってんねん
- こんなことをみんなで考えたらどうやろか
- 戦争体験や人生経験を次世代に残したい
- 私の意見をのせてほしい
- うちの広告をのせてほしい

等々地域のプラスになる情報であればOK。編集の都合で掲載できない場合あります。

**次号は５月11～16日戸別配布**
港新聞は港図書館、港区民センター、港区老人福祉センター、弁天町市民学習センター、コンビニ、銭湯、ひまわり、港近隣センター等にも設置しています。

紙資源節約と環境保全のため名前のないポストには配布していません。ご了承下さい。

## あさやけ

湯舟で歌うといえば裕次郎に橋幸夫という筆者にはちと刺激が強すぎました。八幡屋出身のロックドラマー桐田勝治さんの招待で鑑賞したロック演奏会（7面）▼超人気バンドだけに若者で超満員。なぜかみなTシャツ姿で立ったまま。心臓を叩く大音量。肉がちぎれんばかりの動きで怒鳴るように歌う中心歌手。連続ジャンプで応える聴衆。二時間ぶっ続けの最後には演奏者が使った手拭いを会場に投げ込みムードは最高潮▼更に熱気冷めやらぬ会場で一女性から聞いた歌手の年齢（四十七！）にも唖然。そしてこの夜の〝アンビリバボー〟の極め付きは二十代にしか見えなかったその女性の一言「ロック鑑賞歴三十五年です」「え、え～～～」▼凄まじい若者エナジー。劣らぬ壮年パワー。「あの元気を生かせば日本はまだまだ行けると思うたな」―帰宅後も頭から血が退かず〝初体験〟の光景を必死で再現していると妻が言いました。「やめて、家が揺れてるやん！」「……」。

**4/17日㊏18日㊐ 11～16時は オープンハウスへ！**
新築戸建分譲 港晴4丁目4番

田中住宅建設施工
税込価格 3,680万円
■所在/港区港晴4丁目4番
■土地面積/65.78㎡
■私道負担/なし
■延床面積/143.74㎡
■構造/木造3階建
■建築/平成22年3月中旬竣工
検査済証取得予定（確認済証第トラスト09-2060号）
■引渡し/即可

南向前面道路6m
ひろびろ4LDK

充実の設備
- 明るい南向きのバルコニー
- ガス温水床暖房「ヌック」3ヵ所
- 便利で安心各階WC3ヵ所
- 広々とした浴室1620サイズ
- 浴室に楽しい液晶防水テレビ
- ミストサウナ付ガス浴室暖房乾燥機「カワック」
- うれしい食器洗い乾燥器
- 高級感あふれる洗面化粧台

注文建築・リフォームの相談会も同時に実施いたします。
一級建築士事務所　建築工事業特定19-72009　宅建業免許大阪(7)28249
（株）田中住宅建設　港区夕凪1-17-3　☎6571-5533